

あなたは高血圧？

高血圧の診断基準

診察室での血圧値*

収縮期血圧が140mmHg以上かつ／または拡張期血圧が90mmHg以上

家庭での血圧値*

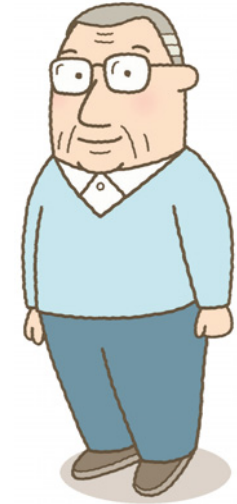
収縮期血圧が135mmHg以上かつ／または拡張期血圧が85mmHg以上

血圧を測定すると2つの値が示されます。

収縮期血圧(最高血圧):心臓が収縮したときの血圧。血液が心臓から全身に送り出された、最も血圧が高い状態。

拡張期血圧(最低血圧):心臓が拡張したときの血圧。全身を循環する血液が心臓へ戻った、最も血圧が低い状態。

*医療機関で測定する血圧を「診察室血圧」、家庭で測定する血圧を「家庭血圧」と呼びます。
診察室血圧と家庭血圧の間に診断の差がある場合、家庭血圧による診断が優先されます。



降圧目標値を知りましょう

治療の目標となる降圧目標値の例は以下の通りです。

降圧目標値の一例	75歳未満の成人	診察室血圧(mmHg) <130/80	家庭血圧(mmHg) <125/75
	75歳以上の高齢者	診察室血圧(mmHg) <140/90	家庭血圧(mmHg) <135/85

患者さんの年齢や合併症の有無によって異なります。降圧目標値については、かかりつけの先生に相談しましょう。

日本高血圧学会高血圧治療ガイドライン作成委員会 編:高血圧治療ガイドライン2019(JSH2019), 2019, ライフサイエンス出版をもとに作成

【監修】医薬情報研究所／株式会社エス・アイ・シー、公園前薬局(東京都)薬剤師 堀 美智子 先生